

(平成30年度改変)

(1) 生徒の特性に合わせた学環境の充実

①学習支援・進学支援の充実

事業名	内容	実施年
大学生による学習サポートの充実	島根大学の1000時間体験学修を活用し定期試験前の個別指導を年3回程度、川本中学校と合同で実施している。また、大学進学した卒業生によるサポートを充実させる。	継続
関西・関東地区の大学の指定校開拓	関西・関東出身の生徒が増加しているため、関西・関東地区の大学の指定校推薦を開拓することで、生徒の進路選択の幅を広げ、生徒募集にも活用する。	H30年度～
進学ゼミの強化	進学ゼミを部活動として日常的な活動にする。また、英検の対策講座や受験料無料化を検討する。	継続 H30年度改変
公務員講座の開設	公務員模試に照準を合わせ松江の専門学校講師に依頼。3回～4回程度。開催時間は所属部活動と協議する。 川本町役場の島根中央高校採用枠を検討する	継続 H30年度改変

②学習環境の充実

事業名	内容	実施年
ICT環境の整備	学習ルーム等へのWIFIを導入する。授業等への活用方法を検討する。	H30年度～
個別指導スペースの整備	職員室に近接した場所に、空調管理のできる個別指導スペースを整備する。	H30年度～
弁当・パン販売の実施継続	昼休みに弁当・パンを販売する。	継続

(2) 部活動を通じた活躍を表現する場の充実

①部活動への多様な参加機会の提供

事業名	内容	実施年
地域系部活動の推進	地域系部活動の体制の見直しを検討する。 部活動に所属していない生徒の地域活動のコーディネートについても体制づくりをしていく。	継続 H30年度改変
空き店舗の活用	商店街に近いという立地を生かし、空き店舗を高校生の手で居場所作り等、にぎわいの創出取り組む。	継続
地域住民との連携	西公民館（因原地区）との活動を継続、発展させると共に、三原地区の公民館や美郷町の公民館との活動も検討する。	継続 H30年度改変

②周辺地域の特性を活かした部活動の強化

事業名	内容	実施年
地域指導者活用	吹奏楽部、カヌー部、野球部やその他の部について、地域の指導者を依頼、活用する。	継続
専門指導者の招聘	全国の舞台での活躍を目指し、日本代表経験者やスポーツトレーナーを招聘する。	継続
強豪他校との合同練習の強化	強豪他校と積極的に合同練習を行う。	継続
スポーツ活動への高校生派遣サポート	野球、剣道、バスケ、バレーなどの周辺地域でのスポーツ活動へ高校の部員を派遣して活動を支援する。	継続
中学校部活動との合同練習・体験	近隣市町村の中学校との合同練習を強化する。	継続
部活（競技）体験Dayの実施	地域住民や中学生向けの部活（競技）体験を実施し、競技の認知度を高め町全体で部活を応援する気運の醸成と入部希望者の獲得を図る。	H30年度～

(3) 地域特性を活かしたキャリア教育の推進

①地元企業との連携

事業名	内容	実施年
地元企業による合同企業説明会	邑智郡内等の企業に来ていただき、高卒・大卒を対象とした合同企業説明会を行う。	継続
新「しまちゅう弁当」の開発	「しまちゅう弁当」を校外へアピール、販売する方法を考える。	継続
地元企業と連携した取り組み	「地域デザイン」で近隣の企業から新商品の開発等の課題をいただき提案を行う。地元企業の情報発信やふるさとフェアでの販売等も検討する。	継続
まちごとキャンパス学習の強化	これまでの取り組みを検証し、今後のまちキャン学習の発展的な実施方法について検討する。	継続
ふるさと学の強化	まちづくり推進課と連携し「学生が魅力に思うまちづくり」をテーマに取り組む。 中山間地域研究センター、西部県民センター、県立大学等と積極的に連携を図る。	H30年度～

②地域活動への参加促進

事業名	内容	実施年
地域活動・行事支援	自治会や商店街等のイベントの設営作業を地域住民と一緒にこなう。	継続
地域活動の促進	自治会や町等のイベントへの参加率を高める。また、より多くの生徒が地域活動へ参加し学びを得るとともに地域の課題解決に貢献するための手段として、地域通貨や地域活動奨励金の活用を検討する。	H30年度～

(4) 効果的なプロモーションの推進

①情報発信の充実

【現状・見直し点】(H29)

事業名	内容	実施年
ホームページの更新	新しい情報を速やかに更新する。	継続
学校案内、DVDの作成	学校生活がイメージできる内容の広報媒体を作成する。	継続
学校だよりの発行	「しまちゅうだより」一号分の情報量を減らし、発行頻度を上げる。なお、掲載内容については中学生を対象としたものへの見直しも検討する。	継続
近隣町広報誌への掲載	主に部活動や進学・就職の実績、周辺地域でのイベントの事前情報等、一般住民向けの内容を掲載する。	継続
スクールバスを利用した情報掲示	周辺地域を運行するスクールバスに部活動や進学・就職の実績等を掲載する。	継続
横断幕の設置	部活動の大会出場決定時等に、高校周辺において横断幕を設置する。	継続
卒業生との連携によるPR強化	引き続き県外生と保護者にPRサポーターとして登録してもらうほか、3年生の卒業前にもサポーターを募集し県外へ出て行く町内生、町外生にもサポーターになってもらう	継続
SNSの活用	本校のFacebookページを新たに立ち上げ、学校の様子をよりタイムリーに発信する。	継続

②広報活動の充実

事業名	内容	実施年
オープンスクールの充実	参加者同士や在校生、教職員との交流や個別のカウンセリングなどの時間を充実させる。県外参加者には宿泊ができるツアーを提案する。	継続
県外学校説明会周知方法の改善	Faxや郵便での広報には限界がある。 都市部の塾や在学生の出身中学校への訪問活動を充実させる。	継続
交流部活動の充実	近隣市町の中学校の生徒会と高校の生徒会の交流企画を行う	継続
文化祭招待事業の実施	高校生の楽しそうな学校生活を間近で見ってもらうため、本校の文化祭に周辺地域の児童・生徒を招待する。	継続
教員対象学校見学会	近隣市町の中学校の教員を対象に説明会、授業見学等を実施する	H30年度～
女子生徒の募集強化	女子寮新設に向けて、女子生徒の募集を推進する。	H30年度～

(5) 多様な地域から集まる生徒の受け入れ体制の強化

①学生寮の機能強化

事業名	内容	実施年
運営主体の連携強化	高校寮務部及び川本町役場との連絡会議を年間行事予定に組み込み、定期的開催する。	継続
施設設備の機能強化	江風寮の老朽化した部分について随時手直しをする。また、寮生自身でも修理・改装する機会をもつ。	継続
充実した食事の提供	男女別、調理員等対象に応じた食育講演会を行う。	継続
学習支援・地域活動参加の強化	学習交流センターに民間教材等を導入し寮生の自習時間を充実させる。また、江風寮生も学習交流センターの学習ルームや教材を使用できる環境を整える。	継続 H30年度改変
担当職員の配置 (学習交流センター)	学習交流センター担当職員を継続して配置する。継続できる仕組みづくり。	継続

②地域の受け入れ体制の充実

事業名	内容	実施年
まち親確保のための体制強化	引き続きまち親の確保を続けると共に、マッチング後のサポート体制の構築を図る。寮務部がまち親との関わりを持ちながら、まち親と県外生、まち親と学校間のより良い関係作りを進める。	継続 H30年度改変
通学にかかる支援強化	周辺地域からの通学を支援するため、高校専用バスの運行継続に加え、江津・大田・温泉津・美郷方面からのバス通学については、後援会によるバス利用料の全額助成に取り組む。	継続 H30年度改変

(6) 魅力化推進体制の強化

①校内推進体制の整備

事業名	内容	実施年
教職員研修の実施	年度初めに魅力化事業についての全体研修を行う。 例年4月に開催される町内小・中・高等学校および教育委員会、役場合同の懇親会に参加し、地域との関わりを積極的にもつ。	継続
全教職員による生徒募集の強化	全職員が名刺を持ち、積極的に生徒募集活動を実施する。	継続

②外部機関との連携

事業名	内容	実施年
効果的な推進体制の構築	学校、後援会、コーディネーター間で共通認識を持ち、目標の共有化を行う。H30年度から配置される主幹教諭を中心とした体制づくりを構築していく。また、各業務や取り組みに数値目標を設定し、判断基準などを明確にする。	継続 H30年度改変
魅力化コーディネーターの配置	継続して配置していく。	継続